

## 女子決勝戦評

### 櫛形豊（山梨県）

東村山 JC カップ女子の決勝は、山梨県代表の櫛形豊と千葉県代表の桜ヶ丘と招待チームどうしの対戦となりました。

#### 1 Q

立ち上がり、桜ヶ丘⑤のドリブル突破からのパス、シュートなど多彩な攻撃で点数を積み重ねていく。櫛形豊はゾーンプレスディフェンスで守るが、ドリブルで突破されるシーンが目立つ苦しい展開。徐々に緊張もほぐれてきたのか、櫛形豊パスカットからの速攻を機に、櫛形豊④、⑤を中心に反撃にでる。その後も一進一退の展開となり点数を積み重ね、14-11と櫛形豊リードで終了。

#### 2 Q

長身の桜ヶ丘⑥を中心に、インサイドで攻撃を組み立て、立ち上がりすぐに逆転。一方の櫛形豊は、パスを回しながら反撃の機を伺うが、桜ヶ丘のオールコートディフェンスに手を焼き、シュートまで行けない苦しい時間帯が続きそのままタイムアップ。20-26で桜ヶ丘が逆転し後半を迎える。

#### 3 Q

櫛形豊⑤のミドルシュートから始まり反撃を試みる。櫛形豊はゾーンプレスディフェンス、桜ヶ丘はオールコートマンツーマンディフェンスで守る。それぞれのチームのディフェンスが功を奏し、一進一退の展開が続く。疲労が見えた中盤、桜ヶ丘⑤のドリブルに突破されるシーン多くなり、桜ヶ丘⑥がゴール下で確実にフィニッシュをして、得点に繋げていく。さらに、桜ヶ丘④、⑧にも突破され得点を重ね、22-42と20点リードを広げる。

#### 4 Q

桜ヶ丘は、3Qの勢いそのままに順調に点数を重ねていく。桜ヶ丘④がドリブルで縦横無尽に走り回り、相手のディフェンスを崩していく。そして、桜ヶ丘⑥、⑧が着実にシュートを決めて点数を伸ばしていく。一方、櫛形豊⑧を中心に反撃を試みる。最後まであきらめずに、ゾーンプレスで相手にプレッシャーをかけ続け、桜ヶ丘のミスを誘い点数を入れるが、そのままタイムアップ。終わって見れば、37-53で千葉県代表の桜ヶ丘の初優勝で、女子のJCカップを手にした。

14-11

6-15

2-16

15-11

主審：宮崎 真吾

副審：嶋田 征弘

櫛形豊 37-53 桜ヶ丘